

会員が主役の支部活動をすすめましょう

さかいわ支部ニュース

さかいわ 坂井輪 仲間の輪

2021年8月 NO.183

さかいわ支部長 渡辺 豊 (小新西)

新潟勤労者医療協会 坂井輪総支部

葉月 君子之交淡若水



封により400人以上の藩士、足軽が路頭に迷ったそうです。幕府は増えた領地の管理の為、黒川と旧加治川村三日市に幕府陣屋を置きました。その後の享保9年(1724)年、甲府から柳沢吉保の四男経隆が黒川に1万石、五男時陸が三日市に1万石でそれぞれ入封しました。左上の写真は旧黒川小学校跡地です。

ここが幕末に藩主と藩士が移って新しく建てられた黒川藩陣屋跡です。写真の中ほど、鉄柱が立っている窪地が陣屋を囲んでいた堀の跡とされます。前の黒川小学校のグラウンドが広がっています。旧幕府代官所跡は市街地になり痕跡はありません。右下の写真は旧加治川村にあった三日市藩の陣屋跡です。以前の幕府陣屋は加治川近くで水害のおそれがあるため、近くの「館」付近に建てられました。陣屋跡は現在、八幡宮、国道7号線、七葉中学校となっています。近くの常勝寺には今も藩士の墓があります。柳沢本家の大和郡山藩とこの両藩は明治維新まで存続し、明治時代には華族として残りました。甲府にあった両藩が遠く越後に来たのは将軍の代わりにより柳沢家と幕府との関係が変化したためとされています。

8月の表題は荘子にある「君子の交わりは淡きこと水の如し」です。人と人の付き合いとは淡々とした交わりが、いつまでもあきが来ず、長続きすることを言っています。人付き合いの極意でしょうか。今年は中国の古典をひもといています。

裏面に民医連の月刊誌「いつでも元気」の記事「お金をかけない健康法」を転載しました。皆さん「いつでも元気」誌を読んでみませんか。見本誌は渡辺か友の会事務局へ。

